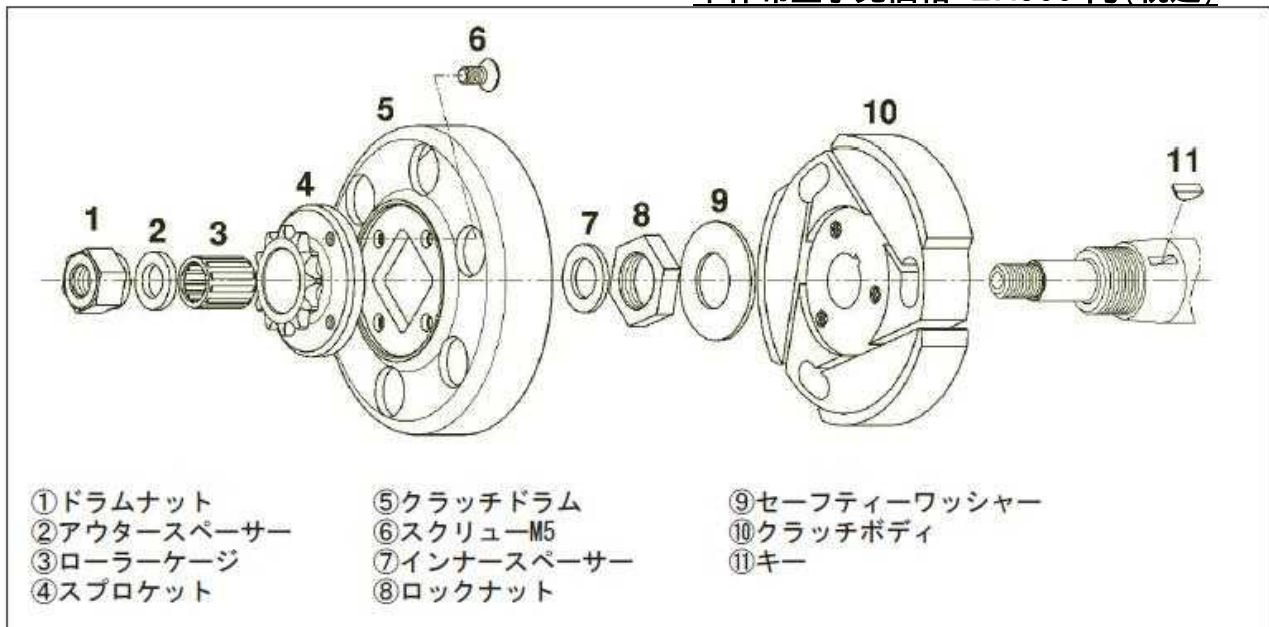


2010年3月1日

NEW SL クラッチパーツリスト

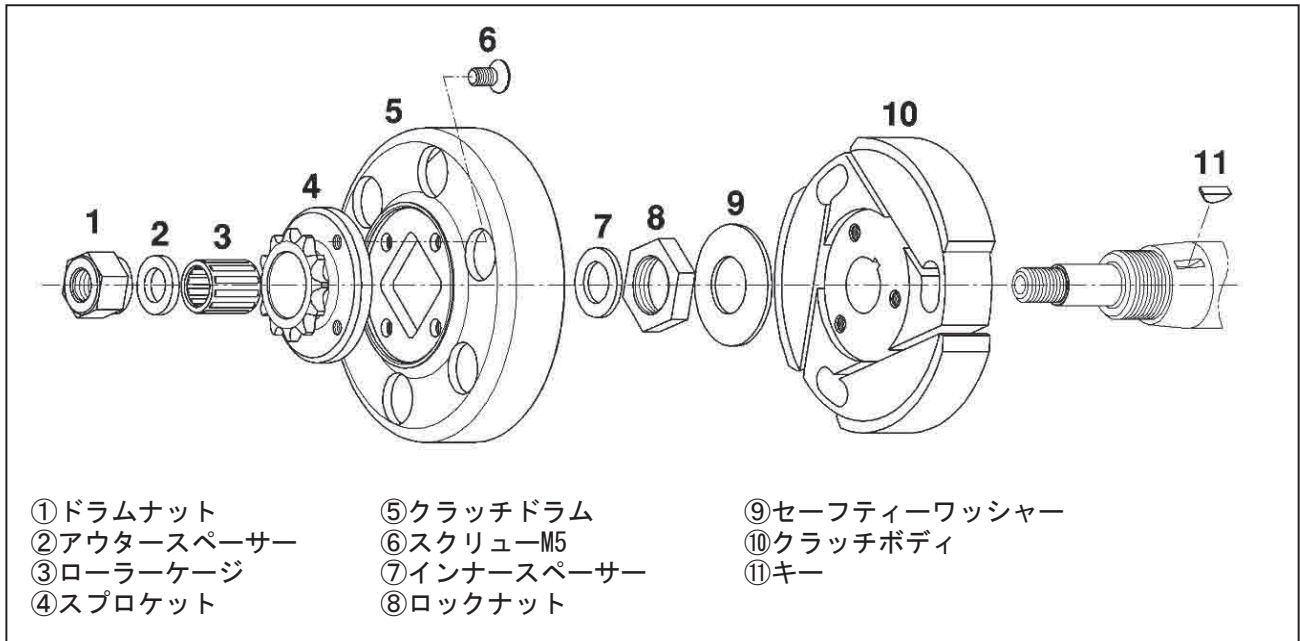
本体希望小売価格 27.300 円(税込)



	商品コード	品名	入数	希望小売価格	備考
1	D-75570	ドラムナット	1	504	
2	D-75573	アウトースペーサー	1	252	
3	D-75598	ローラーケージ	1	945	
4	SL-125554	スプロケット Z10 FREELINE '09	1	6.195	
4	SL-125555	スプロケット Z11 FREELINE '09	1	6.195	オプション
5	SL-61550A	クラッチドラム FREELINE '09	1	7.560	
6	00030-K	スクリューM5	4	357	
7	D-75565	インナースペーサー	1	357	
8	A-60560	ロックナット	1	683	
9	D-75563	セーフティーワッシャー	1	357	
10	SL-10841	クラッチボディ FREELINE SL'09	1	17.220	

記載の金額は税込価格です。製品の仕様、価格変更は予告なく変更する場合があります。

FREELINE SL09クラッチ 組み立て説明書



- | | | |
|------------|------------|-------------|
| ①ドラムナット | ⑤クラッチドラム | ⑨セーフティワッシャー |
| ②アウタースペーサー | ⑥スクリューM5 | ⑩クラッチボディ |
| ③ローラーケージ | ⑦インナースペーサー | ⑪キー |
| ④スプロケット | ⑧ロックナット | |

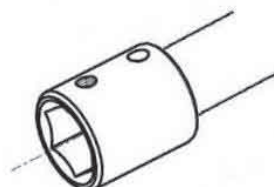
注：クラッチを取り付ける前に、シャフトとクラッチボディのテーパ部分を生ガス等で洗浄し汚れや脂分を除去してください。

組み立て手順	必要ツール
1. ⑪キーをクランクシャフトに取り付ける	
2. ⑩クラッチボディと⑨セーフティワッシャーをつける	
3. クラッチレンチを使い⑧ロックナットを取り付ける ⚠ 注意：ナットが逆ねじのため反時計回りにしめて下さい。 (推奨：ロックタイト等のロック剤塗布)	・クラッチレンチ：品番10270 ・24 mm ソケット (トルク値 50÷60 Nm)
4. ⑦インナースペーサーを取り付ける ⚠ 注意：インナースペーサーはテーパ形状になっています。テーパが広がる方をエンジン側へ向けて取り付けして下さい。 クランクシャフトに取り付ける前に、③ローラーケージを拭きグリスを塗ってください。	
5. ⑤クラッチドラムと②アウタースペーサーを取り付ける	
6. シャフトを固定するためピストンフィッティングを取り付け、ロックタイト等のロック剤塗布後①ドラムナットを取り付ける	・ピストンフィッティング：品番10271 ・17 mm ソケット (トルク値 30÷35 Nm)

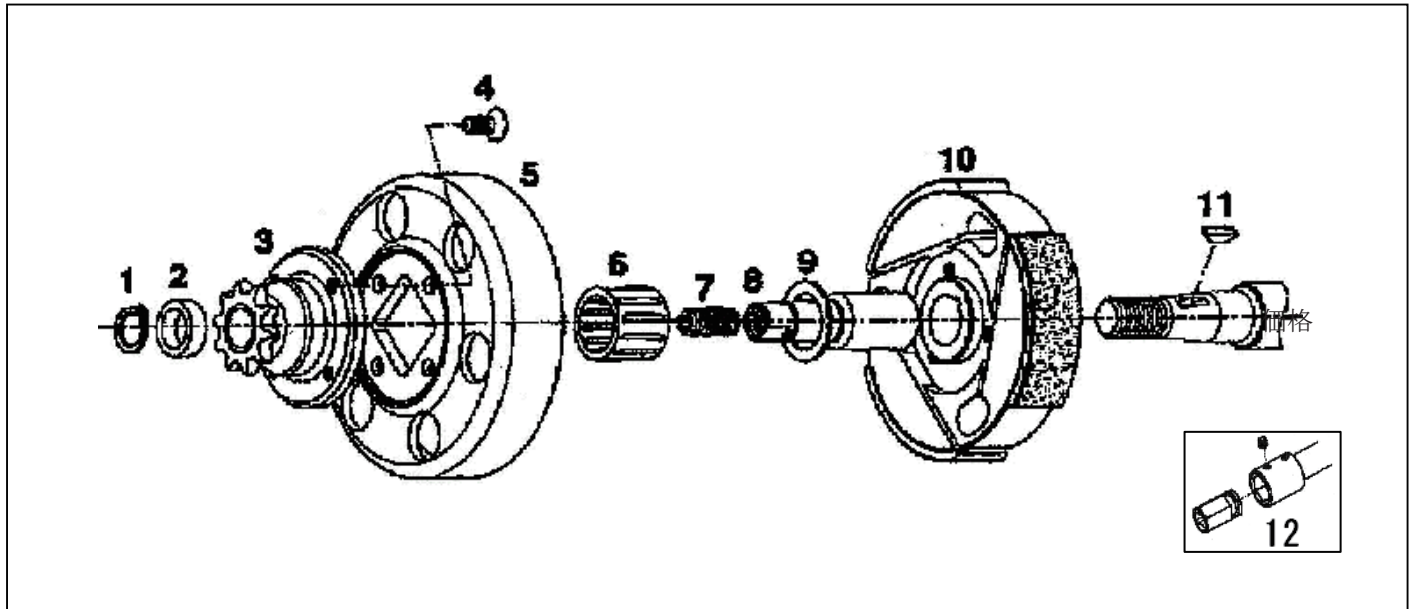
注：組み立て終了後、クラッチドラムがクランクシャフトの軸方向に対しクリアランスが 0.3 ± 0.10 ミリであることを確認してください。

外部スターターでエンジンをかけるときは、スターターのシャフトに下記アダプター(別売)を取り付けます

注：外部スターターモーターは必ずワンウェイ・クラッチを装着したものを使用してください。



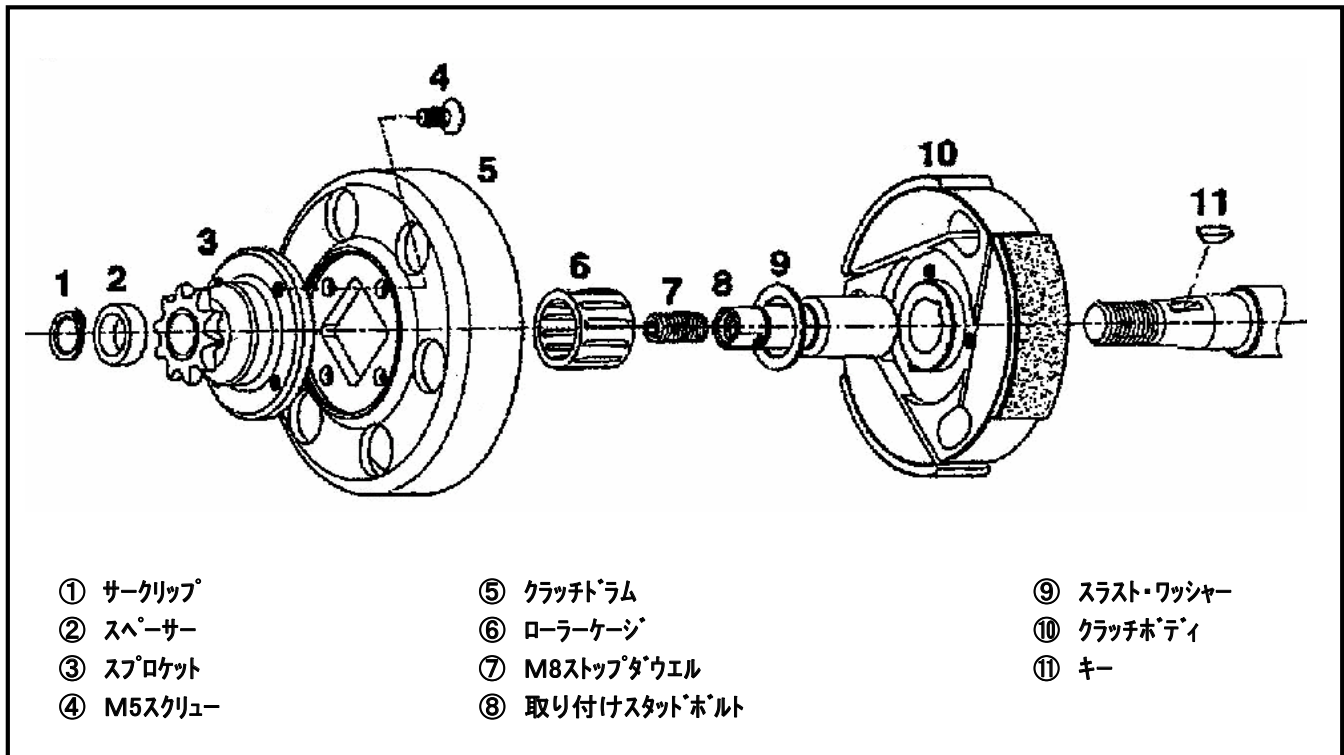
FREE LINE SLクラッチ



POS	CODE	DESCRIPTION	NOTE	税込希望小売価格	税別希望小売価格
	SL-10840-C	SLクラッチ ASSEY	装着可能機種 : KT100SD、SP、FP	30,030	28,600
1	SL-10571	シーガーリング	クリップ	73	70
2	G-100573-A	スペーサー		315	300
3	SL-10554-J	スプロケット Z 10T		6,510	6,200
	SL-10555-J	スプロケット Z 11T	オプション	6,510	6,200
4	00030-K	M5 スクリュー		315	300
5	SL-10550	クラッチドラム		7,560	7,200
6	SL-10598	ローラーゲージ		1,260	1,200
7	00009-K	M8 ストッパースクリュー		609	580
8	SL-10559	アダプターシャフト		6,300	6,000
9	SL-10565	シム		315	300
10	SL-10840	クラッチボディ		17,220	16,400
11		キー	エンジン装着分使用		
12	SL-10886-C	スターターボス	オプション	3,675	3,500
	SL-10270	クラッチレンチ		3,465	3,300

*スターターボスを装着することにより、外部スターターによるエンジンスタートが可能です。
 ※価格は税込価格です。仕様、価格は予告無く変更することもあります。

ヤマハエンジン搭載クラッチ組立説明



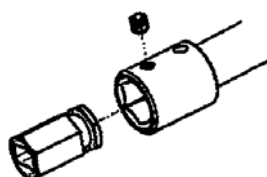
注意: クラッチをインストールする前に、シャフトテーパ部及びクラッチボディテーパ部を生ガス等で洗浄し、汚れや脂分を除去する。

クラッチ組立		必要ツール
1	キー⑪をシャフトに差し込む	
2	クラッチボディ⑩をシャフトに取付ける。	
3	クラッチレンチでクラッチボディ⑩を固定しながらSD用ドライブスプロケットナットと厚み5mm以上のカラーを用いて、隙間にロックタイトを少量塗り締め付ける	・クラッチレンチ Free Line NO,10270 ・トルクレンチ (締付トルク: 5.0~6.0kg・m) ・ロックタイト ミディアムタイプ242e
4	スプロケットナット、カラーを外しクラッチレンチでクラッチボディ⑩を固定しながらスタッドボルト⑧を締め付ける。隙間にロックタイトを用いる。	・フォークレンチ10mm (締付トルク: 3.0~3.5kg・m)
5	M8ストップダウエル⑦をスタッドボルト⑧の中へネジ入れる。隙間にロックタイトを用いる。	・4mmアレンレンチ (締付トルク: 2.0kg・m)
6	内側ワッシャー⑨を取付ける	
7	ローラーケージ⑥にグリースを塗り、スタッドボルト⑧にはめ込む	
8	スプロケット③をクラッチドラム⑤に取付ける。(4本のM5スクリュー④)	・3mmアレンレンチ (締付トルク: 0.6~0.8kg・m)
9	クラッチドラム⑤をクランクシャフトに取付ける。	
10	スパースー②を差し込む。	
11	スタッドボルト⑧にサークリップ①をとりつけて固定する。	

注意: 組立完了後、クラッチドラムがクランク・シャフトの軸方向に対し、クリアランスが0.3±0.10mmあることを確認する。

オプション

外部スターターでエンジンをかけるときはスターターのシャフトにアダプター(別売)を取付けます。(図参照)



FreeLine SL クラッチ組立上・使用上の注意点の変更

ユーザー様各位

前略

フリーライン製品をご愛顧頂き誠に有難うございます。2006 年 6 月 15 日より発売を開始し御好評を頂いています“FreeLine SL クラッチ”ですが、組立上・使用上の注意点に関しより確実に組立できるよう変更がございますので御案内致します。

SL クラッチ組立上の注意点の変更

クラッチボディーを確実に取付ける為、予めクラッチボディーを SD 用スプロケットナットと厚み 5mm 以上のカラーを用いて少量のロックタイトをクランクシャフトの隙間に塗った上で 5 ~ 6 kg・m のトルクで締め付けます。その後、スプロケットナットとカラーを外し、従来の方法でスタッドボルトを締付トルク : 3.0 ~ 3.5kg・m で締め付けます。この際クラッチボディーの固定はクラッチレンチ (FreeLineNO10270) をご使用ください。また、組付け前にスプロケットにローラーケージと取付けスタッドボルトを差し入れ、スタッドボルトが指で回して抵抗なく回転する事をご確認下さい。この時点でスタッドボルトの回転に抵抗・重さを感じられる際は、お手数ですがスタッドボルトのローラーケージ接触面を細かな目のサンドペーパー (約 # 400 番) 等で傷を付けないよう研磨し、回転が滑らかなになるまで仕上げして下さい。

SL クラッチ使用上の注意点

1. クラッチのローラーケージへのグリスの注入などの為にサークリップを外される場合、外す際及び再度取り付ける際に、サークリップを広げ過ぎないようにして下さい。サークリップが元の状態に復元出来ない場合や再三取り外し作業を行った場合は、サークリップを必ず新品に交換して下さい。サークリップの脱着を行う場合は出来る限りサークリップを新品に交換して下さい。サークリップの破損によりドラム本体が外れると部品が飛散し大きな危険が伴います。
2. 粘度の低いチェーン・スプレーを使用した直後にカートを始動した場合、クラッチ・ドラム・カバー内にチェーンより飛散したスプレー液がクラッチ・カバーの穴より入る事が有り、クラッチ滑りを引き起こします。粘度の高いチェーン・スプレーをお使い頂くか、或いはスプレー噴霧直後の始動は避けるなどのご配慮をお願いします。いずれの場合もドライブ・スプロケット周りへの噴霧は避けるようご注意願います。

性能上支障の有るものではありませんが、安全に関する事ですので、以上の点検確認及び必要な場合の処置を施されます様宜しく御願い致します。

草々